



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 6. 16

No. 9

## 人権の花植え

毎年、「人権擁護委員会」から花の苗をいただいています。六郷小学校では「人権の花」として、1年生と6年生が協力して植えています。14日に植えたのですが、天気にも恵まれ、無事すべての苗を植えることができました。今回はマリーゴールド、日々草、ペゴニアの3種類の花の苗を植えました。

子ども達の様子を見ると、6年生は1年生に気を配って作業を進めてくれていました。写真を見ていただければその様子が伝わるとと思います。こういった異年齢での活動を体験することで、6年生には思いやりの心が、1年生には年上を敬う心が育ちます。



### 人間らしい生き方、自己実現を可能にする人権

人権は、人が社会で人の尊厳にふさわしい生きかたを可能にします。人の尊厳が守られてはじめて、人は社会の一員としての役割を果たすことができます。すべてにおいて恵まれた生活が可能な社会で人間としての尊厳を守れないような生き方をせざるを得ない人がいるというのは、豊かで幸せな社会とはいえません。また、人権は人がそれぞれの資質や能力を生かして自分本来の生き方や成長を可能にする（自己実現）ために必要です。周りの無理な期待や強制によって生き方を自由に選びとることが出来ないような時には、自分の能力や才能を伸ばし、育んできた目標の実現をあきらめなければならないでしょう。自分の生き方について、責任を持って自分で選ぶことは人権なのです。

人権について調べてみると、上記の内容がありました。小学生にとっては理解するのが難しい言葉です。しかしながら、学校では「思いやりをもって接する。」「相手の気持ちを考えて行動する。」といった内容を通して、人権の大切さを勉強しています。



### あいさつ運動も始まっています。

児童会では、「あいさつパワーアッププロジェクト」として、「あいさつさわやかさんを全校の前で表彰する」「毎週月曜日に、体育館廊下で各クラスの代表（日直など）があいさつする」という取り組みを行っています。下の写真は、第1回目の様子です。

初めての取り組みなので、少し消極的な様子が見られましたが、次第に声を出せるようになってきました。活動が軌道に乗ってくれることを願っています。



## 池の柵を撤去しました。

校門に入って右側に池があります。中には鯉や小さな魚が泳いでいます。4月に赴任してきて、違和感を覚えたのは、池の周りにネットの柵があることでした。確かに、池に落ちたら大変だということで設置したことと思います。しかしながら、時々子ども達が柵越しに魚を見ている姿を目にして、「子ども達をもっと近くで生き物を見ることができるよう、柵を撤去しよう。」と考えました。

全校集会で私（校長）は次のように子ども達に伝えました。「池の柵をなくしたいと思うけれど、池に落ちたりいたずらしたりする人が出ると、また柵を作らなければならない。みんながルールを守ってくれば、近くで魚などを見ることができるんだけど、どうかな？」と呼びかけました。それ以来、子ども達は私と会うたびに、「いつ柵をなくすんですか？」と何度も聞いてくるようになりました。



そして、ついに柵を撤去したところ、写真のように、たくさん子ども達が池に群がるようになりました。特に登校時には、校門をくぐると、大半の子ども達が池に寄っています。よく見ると、手前には子ども達が大好きなザリガニがいました。思わず捕まえた子がいましたが、「池の中が棲みやすいのだから、返してあげて」と頼むと、素直に戻してくれました。その2日後には、ザリガニが脱皮した後の殻を見つけて、喜んでいました。

学習は教室だけをするものではありません。実際の体験が伴ってこそ、はがれ落ちない知識となって定着します。秋田県では「問いを發する子ども」の育成を目指しています。この「問い」であっても、自然に触れたり、本物を見たりすることによって生み出されるものです。安全面を第一に考えるだけでなく、子ども達の学習環境としてのとらえを大事にしていきたいと思います。

## 友達とのかかわり方

友達関係は、何歳でも問題になります。1年生では、「〇〇ちゃんが叩いた。」「〇〇さんが、貸してくれない。」といった苦情を訴える子が毎日のようにいます。高学年になれば、友達関係が強くなってしまい、グループが固定化します。それがうまくいけばいいのですが、少しでもかみ合わなくなると、関係が崩れてしまいます。

我々大人は、子ども達について理想を求めてしまいます。「〇〇さんは、意地悪だから嫌いだ。」といわれようものなら、「そんなこと言わないで、ちゃんと仲良くしなさい。」と言ってしまいます。それができないから、不満を子どもが発するわけで、子どもからすれば「それができるなら、問題なんか起きないよ。」と本当は言いたいのではないのでしょうか。